

日本共産党
宇都宮市
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

9月議会報告
第62号

発行
日本共産党宇都宮市議員団
宇都宮市旭1丁目1-5
電話 632-2622
FAX 632-7753

基準緩和型多様なサービス=強制・誘導行わない指導を! 基本チェックリストは希望者のみに実施

介護予防など 総合事業への移行



一般質問をする荒川つねお議員

「物」「ミゼ」など生活支援や「仲間つくり」や「生き甲斐づくり」に繋がるサービス等民間企業やNPOなど多様な主体が参加し、低額な費用でのサービス提供が可能となる。一定の水準が確保できるよ

安倍政権の相次ぐ介護保険改悪で市民の安心老後が揺れている。保険料納めて介護サービスが利用できないのでは「国家的詐欺だ」との声もある。

荒川つねお議員

市民の願いかなえる総合事業に

① 総合事業の検討案については、社会福祉審議会などの意見を伺い、検討をすすめホームページ等により公表。今後は、市民・事業者等に対し事業周知に努め、来年4月からの円滑な開始にとりくむ。

従来通りのサービス継続して提供

本橋道正保健福祉部長

③ 「安上り・無資格サービス」と指摘される「基準緩和A型」は、導入そのものを慎重に検討すべき。



基本チェックリストは希望者のみという形になる。これまで通り、相当サービス等は従来通り対応していきたい。

本橋道正保健福祉部長

新総合事業の介護予防マネジメントにおいて利用者のサービス選択権が尊重されることが大前提だ。基準緩和A型による多様なサービスへの強制・誘導は行わない。このことを地域包括支援センターや市の対応窓口で指導できるのか。

本橋道正保健福祉部長

④ 総合事業開始後も介護保険サービスを希望する方は介護認定を受けてサービスを利用することができる。総合事業によるサービスのみを希望する方は基本チェックリスト活用で迅速なサービス提供に繋げる丁寧な説明に努めてゆく。

荒川つねお議員

市民や介護事業者への総合事業説明は何月から始めるのか。

「交通未来都市うつのみや」そのネーミングが泣いています

LRT整備で変化、発展してゆく「交通未来都市うつのみや」の将来像を市民と共に共有できる2050年頃の都市像を提示したとあります。荒川議員は、今から34年後の「交通未来都市うつのみや」については具体像に欠けている。例えば、東武宇都宮線はJR宇都宮駅と直結できているのか。駅前大通りはJR駅の地下を東西に抜けているのか。LRTはどこまで走っているのか。地域拠点と都心部を結ぶ基幹バスの定時制・速達性の実現は、等々もっとダイナミックに描いてこそ、その名にふさわしいものだ。LRTありきで木を見て森を見ない市民惑わす

市民は、市長の顧客か？ 市政の主人公か？

荒川つねお議員は、佐藤市長の市民全体を顧客と見立て、顧客満足をめざすとした市政運営の基本政治姿勢について質しました。この顧客主義の政治手法では、市民は単なるサービスの享受者に過ぎず市民こそが市政の主人公にはなれません。荒川議員は、市長における顧客にお得意様は、より税金をたくさん納める、より市長に影響力のある市民や企業となり、そこへのサービス満足度の成果とスピード指向が強まり、一般市民はおいでいかれると指摘してきました。LRT推進にはつきりと佐藤市長は、圧倒的市民が



掲載できなかった項目

- * LRT諸問題について
- * データヘルス計画等保健事業について
- * 防災政策と地域連携・受援力について
- * JCHO宇都宮病院の譲渡申請問題と本市の対応について



討論する荒川つねお議員

荒川議員 一般会計・特別会計決算に反対討論 豊かな財政力 福祉の増進に生かしきれていない!

9月定例議会が同27日閉会。日本共産党は、22件の議案のうち、一般会計・特別会計決算など3件について反対。荒川つねお議員が討論を行いました。(要旨)

財政力指数	0.962	3位
経常収支比率	90.9%	27位
義務的経費比率	48.1%	10位
自主財源比率	63.8%	3位
実質公債費比率	4.7%	10位
歳入総額	2009億	6位

平成27年度、本市の豊かな財政力が市民のくらしをしつかり支える効果を発揮した決算(税金の使い方)となったのか? 答えは「ノー」である。

第一の理由 LRT事業費

LRT事業費に16億3900万円、その内11億3000万円が、事業推進のめどが立たず線越明許費となった。「LRT先にあき」と市民合意軽視のルール上を大暴走するLRT整備計画の実態と弱点が表われたもので、今後ますます予算執行上の矛盾を市民の前にさらけ出すことになる。現計画よりも少額で同等以上の効果をもたらすBRTに転換することが、最大の税金のムダづかい

を防ぐことになる。

第二の理由 再開発事業費

大手地区再開発事業に血税49億円。平成27年には6.7億円投入された。人口減少時代に超高層マンション建設は時代遅れ。中心市街地のスポットよりも、面的に環境に配慮された都市再生と真の活性化にこそ税金は振り向けるべきだ。

第三の理由 マンパワー絶対不足

市職員は10年間で319名も減少、非正規等に置き換えられ、現業部門では、技術継承もままならない懸念もある。

市民のいのち、健康を守る重大なマンパワー不足を市長は自覚すべきだ。保健師・生活保護ケースワーカー・消防士などの増員、保育士確保と待遇改善、教職員の非正規労働の改善等マンパワー強化の新年度予算措置を声を大にして要望する。

第四の理由 国保事業

市民は安倍政権の社会保障解体路線のもと、医療・介護等様々な分野で深刻な危機に曝されている。例えば国保では、高い国保税と患者負担で苦しんでいる。市長の仕事は国保税のひき下げであり、国の保険者支援金はそこに使わなければならない。医療窓口負担が払えない人を救済する国保法44条の摘要拒否や保健事業の立後れは「ないのはお金でなく、市民への思いやり」である。

いま必要なのは 市政の転換

佐藤市政の3期12年、LRT偏重路線から地方自治の本旨である市民福祉の増進の路線転換こそ市民が市政にのぞんでいくことである。

スポットライト

市長とお金の問題 適法でも不適切

4年に一度は、市長と政治献金の問題が共産党市議員団によって、市民の前に明らかにされる。県選管の収支報告書によると、佐藤市長に関する資金管理団体は後援会総連合会等4団体ある。宇陽クラブもその一つだが、ここから960万円が総連合会に流れている。宇陽クラブの収入は、26年度1,580万円。内訳は28人の個人寄附で60万円が24人、30万円が4人。28人の個人寄附者を調べた所、そのほとんどが、本市の入札参加資格をもつ企業の代表者や市政に密接な関係のある人たちばかりであることがわかり、しかも、翌27年度の受注実績がある企業も多く含まれていることがわかった。

市長たるものの矜持とは?

市長は「政治資金規正法に基いて適正に処理されている」と答弁。荒川議員は「市長は発注する側」「政治献金者は受注する側」こういう関係で市長が献金を受けるとことは市民は不適切と納得しないと迫った。市長は「入札契約制度に基いて公正に行っている」と答弁。同時に「受けとる側として襟を正して疑義が生じないよう対応する」とつけ加えました。荒川議員は、市長としての矜持を持ってこういうお金は遠慮する決断をせよと釘をさしました。

「就学援助制度運用の改善を」 党市議員団が申し入れ



学校教育法第19条では、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」と定めています。格差と貧困の広がり、全国では6人に1人の割合で援助を受けています。宇都宮市の援助率は、ここ数年は7%前後で推移しておりおよそ14人に1人。すべての子どもがお金の心配をせずに、学校教育が受けられるよう、教育長に就学援助制度の改善を求めました。

入学準備に間に合う支給を

現在宇都宮市では、年度初めに学校を通して制度の案内(就学援助についてお知らせ)を配布し、希望者は申請を提出し、前年度の所得が確定する6月に支給決定、年度当初にさかのぼって7月から支給されます。新入生ならば「新入

子どもの学ぶ権利を保障する制度

入学準備には、小学校では5・5万円、中学校では8万円以上もかかると言われており、「義務教育は無償」というにふさわしい国の財政保障が求められています。しかし、現行制度の中でも自治体の努力によって、様々な制度改善は可能です。入学準備金を3月支給しているのは福岡市、板橋区、新潟市、青森市など。日光市では、入学準備金貸付制度があります。就学援助制度は、子どもの学ぶ権利を保障する大切な制度です。必要な世帯が必要な時にもれなく支給できるように、自治体としての姿勢が問われています。

福田くみ子 談話

市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等どしどしお寄せ下さい。

定例無料 市政・法律なんでも相談会

- 11月12日(土) 中央生涯学習センター4階404学習室
 - 12月10日(土) 市総合コミセン2階会議室
- ※1月の相談会はお休みさせていただきます。
※時間は午後2時~4時
※弁護士が協力します。プライバシー厳守
※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。

日本共産党宇都宮市議員団

電話 632-2622 FAX 632-7753

電話 634-8722 (休日夜間など)